

「保健医療科学」
第61巻 第5号 予告

特集：健康日本21（第二次）地方計画の推進・評価のための健康・栄養調査の活用（仮題）

健康政策の推進・評価における国民健康・栄養調査の意義と課題（仮題）……………	吉池信男
健康日本21の最終評価と第二次の目標設定における国民健康・栄養調査（仮題）……………	西信雄
健康日本21（第二次）地方計画における都道府県等健康・栄養調査の役割（仮題）……………	石川みどり，横山徹爾
都道府県等における健康増進計画モニタリングのための健康・栄養調査の設計・実施・解析・活用（仮題） ……………	横山徹爾，石川みどり
都道府県と市区町村との連携による調査の実施とデータ活用（仮題）……………	由田克士
自治体における健康・栄養調査とデータ活用—長野県—（仮題）……………	小林真琴
自治体における健康・栄養調査とデータ活用—熊本県—（仮題）……………	中川夕美，久保彰子
自治体における健康・栄養調査とデータ活用—新発田市—（仮題）……………	石井る美

編 集 後 記

今回の特集は、「公衆衛生における情報活用の現状と展望」であり，平成24年1月19，20日に本院で開催された第25回公衆衛生情報研究協議会の発表演題を基に構成されています。国内の約1,000医療機関が参加している厚生労働省院内感染対策サーベイランス（JANIS）の公開情報，本院が中心となって取り組んでいる地理情報システム（GIS）を用いた健康被害の可視化，クラウド技術を用いた「科学院クラウド」及び健康危機管理支援ライブラリーシステム（H-CRISIS）を取り上げ，紹介しています。主として非感染性疾患の疫学を専門とする私は，正直なところ，これらの情報システムをほとんど利用したことがなく，不勉強を痛感しています。先だって，昨年の東日本大震災における原子力発電所事故に対して，住民の避難誘導に，緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム（SPEEDI）の計算結果が，関係機関に伝えられていながら，活用されていなかったことが報道されていました。どんなにすばらしい情報システムがあっても，有効に活用されなければ何の意味もありません。本特集により，多くの研究者や実務家に，利用可能な情報システムを周知し，保健医療に関する研究や政策に役立つツールとして活用される一助となれば幸いです。

（生活環境研究部 佐田文宏）